

5～11 歳のお子さまを持つ保護者の皆さま



子どもへのコロナワクチン 本当に安全ですか？



あなたの大切な大切な子どもを守るために

必ず知ってほしいことがあります

子どもへのコロナワクチン接種を考える
-医療・研究の最前線から-



- 今使用されているワクチンは全て武漢株用のものです
- ウイルスが変異するごとにワクチンの効果は下がります

感染症対策分科会 尾身会長もオミクロン株への発症予防効果は20%と発言(12/23 記者会見)

ワクチン開発は常にウイルス変異の後追いであり、
ワクチンでの感染対策にはそもそも無理があることを知らなくてははいけません

コロナワクチンは



人類に初めて使われる遺伝子ワクチン※1で

臨床試験※2を終えておらず

体の中でどのように作用するか分からず

効果も中長期的な安全性も十分に確認されていません

※1 インフルエンザワクチンなどとはメカニズムが全く異なるものです

※2 新しい薬や治療に対して効果や安全性を確認するために行われる試験のこと

過去に例を見ない死亡・重篤者数が厚生労働省より発表されています

接種後
死亡報告

1,444 件

(その内10代は6人)

接種回数 約1億 9000 万回 2022 年 1 月 21 日現在

接種後
重篤報告

6,370 件

(その内10代は387人)

今も日常生活が困難、学校に行けないという
子ども達がいま

インフルエンザワクチン 接種回数 約5,600万回

死亡報告

6 人

重篤報告

148 人

死亡者数

70 倍
以上

重篤者数

12 倍
以上

すごい差じゃない？





令和4年2月1日時点の

厚生労働省の新型コロナウイルス感染症の国内発生動向(速報値)によると

重症率
致死率

0.0%

10代以下

(重症者数4人)

(死亡者数4人)

コロナワクチンによる死亡報告例(6人)の方が多いのです

子どもの人生に“薬害”が影を落とすことがあってはいけません

感染しても大半が無症状で重症化しない子どもに本当に必要か考えてみましょう

今回の第六波では、子どもの感染が多いと報道されています

心配ありません!コロナに感染しても大丈夫!
ワクチンで作るよりもずっと強い免疫を手に入れることができます

お子さまが病気になるのは不安ですね。当然のことです。

子どもは風の子と言われるように、鼻水や熱を出しながら免疫を鍛え元気に成長し、抵抗力を身につけていくものです。



そうは言っても
対策しないのは
怖い...

人間には体力や免疫によって自然治癒する力が備わっています。それは新型コロナウイルス感染症も例外ではありません。

お子さまには

外でよく遊び(ビタミンDを生成)、よく食べ(必要な栄養を摂取)、
十分な睡眠を取ることで免疫をしっかり機能させましょう!

過度な消毒は常在菌を殺し、かえって免疫を下げてしまいます。

マスクはウイルスを防ぎません。子どもの着用にはリスクがありますので慎重に!



◆子どもは未来そのものです◆

保護者のみなさん、お子さまへの未知のワクチン接種は慎重に!

北海道有志医師の会(代表:藤沢 明德)

関東甲信越有志医師の会(代表:布施 純郎)

東海有志医師の会(代表:高橋 徳)

関西有志医師の会(代表:長尾 和宏)

九州有志医師の会(代表:森田 洋之)

東北有志医師の会(代表:後藤 均)

栃木県医師有志の会(代表:大和田 信雄)

名古屋有志医師の会(代表:浅井 富成)

中四国有志医師の会(代表:宮原 聡子)

沖縄有志医師の会(代表:東 理人)

他、医師・歯科医・獣医:268名、医療従事者:537名